

GIDS-PD

日本語版パーキンソン病のための胃腸管機能障害スケール

はじめに

パーキンソン病患者さんの一部に消化管系の変調を経験される方がおられます。この質問票はあなたが何らかの胃腸の問題を経験したことがあるかを評価するものです。**最近 6 か月間における**、あなたの症状をもっともよく表している項目にチェックしてください。各項目の記載は必ず全てお読みください。

もしあなたが**最近 6 か月以内**には問題を経験していなかったが、それより以前にはその問題を経験していた場合は『いいえ』にチェックしてください。

もしあなたが**過去 6 か月間**に以下の問題に関連した治療薬を使っていた場合は治療中の状態について教えてください。

全ての質問にお答えくださるようお願いいたします。どの**選択肢を選んだらいいか分からない場合は**、あなたの症状に最も近い**選択肢に**チェックしてください。

GIDS-PD | 日本語版パーキンソン病のための胃腸管機能障害スケール

名前/研究番号	日付	性別	年齢
	年 月 日	男性 女性	歳

1. 最近 6 か月間で、平均してどれぐらいの頻度で排便がありましたか？（もしあなたが過去 6 か月間に以下の問題に関連した治療薬を使っていた場合は、治療中の状態について教えてください）

頻度

- ときどき：排便は週 3 回またはそれ以下。
 しばしば：排便は週 4 回から 7 回。
 ひんぱんに：排便は週 8 回またはそれ以上。

程度

- 軽度：排便の回数について、不快感や苦痛はほとんどない。
 中等度：排便の回数について、不快感がある、あるいは問題になることがあるが、排便の回数に対処するために特別な取り組みは必要ない。
 重度：排便の回数は強い不快感・苦痛を伴い、深刻な問題を生じ、痛みや不安を引き起こす。または、排便の回数に対処するために特別な取り組みが必要である。
（例えば、治療薬）

- 1a. 最近 6 か月間で、あなたは便を出すために特別な対策をとりましたか？

- はい いいえ

もし、『はい』なら、以下から該当するものすべてにチェックをつけてください。

- 食物繊維（例えばプルーン、シリアル、食物繊維の多いスープなど）を多く摂るようにしたり、プロバイオティクス（善玉菌を含む食品・サプリメント）を摂るようにした。
 ときどき下剤を使った（週に 2 回またはそれ以下）。
 定期的の下剤を使った（毎日ではないが週に 3 回以上）。
 毎日下剤を使った。

- 1b. 排便が 1 週間に 3 回以下になってから、あるいは排便回数を増やすために

なにがしかの対策（食事の改善や下剤など）が必要になって何年になりますか？

- 1 年未満
 1-10 年
 10-20 年

全ての質問に回答したかを確認してください

GIDS-PD | 日本語版パーキンソン病のための胃腸管機能障害スケール

2. 最近6か月間で、排便困難感（便の出しづらさ、便を出す時の痛み）を自覚したことはありますか？

はい いいえ

もし、『はい』なら以下の質問にもお答えください。

頻度：

- ときどき：10回トイレに行って、排便困難感は1回あるかないか。
- しばしば：平均して4回トイレに行ったら、排便困難感が1回はある。
- ひんぱんに：2回トイレに行けば、少なくとも1回は排便困難感がある。

程度：

- 軽度：排便困難感はあるが、不快感や苦痛はほとんどない。
- 中等度：排便困難感について、不快感がある、あるいは問題になることがある。
(例えば、排便に時間がかかる、便を出すのに力がいる、
排便困難感のせいで痔になってしまった)
- 重度：排便困難感強い不快感・苦痛を伴い、深刻な問題を生じ、痛みや不安を引き起こす。
または、排便困難感に対処するために特別な取り組みが必要である。
(例えば、お尻やその周辺を押す、手で便を取り除く、浣腸をする)

3. 最近6か月間で、便が固かったことはありますか？

はい いいえ

もし、『はい』なら以下の質問にもお答えください

頻度：

- ときどき：10回トイレに行って、便が固いことは1回あるかないか。
- しばしば：平均して4回トイレに行ったら、便が固いことが1回はある。
- ひんぱんに：2回トイレに行けば、少なくとも1回は便が固いことがある。

程度：

- 軽度：便が固いことはあるが、不快感や苦痛はほとんどない。
- 中等度：便が固いことについて、不快感がある、あるいは問題になることがある。
(例えば、排便時に力まないとけない)
- 重度：便が固いことは強い不快感・苦痛を伴い、深刻な問題を生じ、痛みや不安を引き起こす。

全ての質問に回答したかを確認してください

GIDS-PD | 日本語版パーキンソン病のための胃腸管機能障害スケール

4. 最近6か月間で、排便したにも関わらず便が残っているような感覚を味わったことはありますか？

はい いいえ

もし、『はい』なら以下の質問にもお答えください

頻度：

ときどき：10回トイレに行って、便が残っているような感覚は1回あるかないか。

しばしば：平均して4回トイレに行ったら、便が残っているような感覚が1回はある。

ひんぱんに：2回トイレに行けば、少なくとも1回は便が残っているような感覚がある。

程度：

軽度：便が残っているような感覚はあるが、不快感や苦痛はほとんどない。

中等度：便が残っているような感覚について、不快感がある、あるいは問題になることがある。

(残便感のために排便が長引く)

重度：便が残っているような感覚は強い不快感・苦痛を伴い、深刻な問題を生じ、痛みや不安を引き起こす。

または、便が残っているような感覚に対処するために特別な取り組みが必要である。

(例えば、同じ日に何度も便を出すように試みる)

5. 最近6か月間で、腹痛はありましたか？

はい いいえ

もし、『はい』なら以下の質問にもお答えください。

頻度：

ときどき：週1回未満。

しばしば：平均して週に1回程度。

ひんぱんに：少なくとも週に2回以上。

程度：

軽度：腹痛はあるが、不快感や苦痛はほとんどない。

中等度：腹痛について、不快感がある、あるいは問題になることがあるが、

腹痛に対処するために特別な取り組みは必要ない。

重度：腹痛は強い不快感・苦痛を伴い、深刻な問題を生じ、そのために日々の活動が妨げられる。

全ての質問に回答したかを確認してください

GIDS-PD | 日本語版パーキンソン病のための胃腸管機能障害スケール

6. 最近 6 か月間で、排便回数が異常に増加した日はありましたか？

便秘の日があっても、排便回数が増えた日もあれば『はい』と教えてください

はい いいえ

もし、『はい』なら以下の質問にもお答えください

頻度：

- ときどき：週 1 回未満。
- しばしば：平均して週に 1 回程度。
- ひんぱんに：少なくとも週に 2 回、いつもより排便回数が増加する日がある。

程度：

- 軽度：排便回数が増加することはあるが、不快感や苦痛はほとんどない。
- 中等度：排便回数の増加について、不快感がある、あるいは問題になることがある。
- 重度：排便回数の増加は強い不快感・苦痛を伴い、深刻な問題を生じ、
そのために日々の活動が妨げられる。
(例えば、便失禁など)

7. 最近 6 か月間で、腹部が張ったような感覚（腹部ぼう満感）、腹部の圧迫感、ガスの充満感、腹部がふくれた感じ、または腹部の膨張感（目に見えて腹囲が増加したこと）はありましたか？

はい いいえ

もし、『はい』なら以下の質問にもお答えください

頻度：

- ときどき：週 1 回未満。
- しばしば：週に 1 回程度。
- ひんぱんに：週に 2 回以上。

程度：

- 軽度：くりかえす腹部ぼう満感はあるが、不快感や苦痛はほとんどない。
- 中等度：くりかえす腹部ぼう満感について、不快感がある、あるいは問題になることがある。
(例えば、一般的な量の食事で、過剰に満腹感を感じてしまう)
- 重度：くりかえす腹部ぼう満感強い不快感・苦痛を伴い、深刻な問題を生じ、
そのために日々の活動が妨げられる、または、おなかいっぱい食べることができない。

全ての質問に回答したかを確認してください

GIDS-PD | 日本語版パーキンソン病のための胃腸管機能障害スケール

8. 最近 6 か月間で、予期せぬ体重減少がありましたか？

数か月の間に体重が減り、この 1 か月その体重を維持した場合も『はい』と教えてください

はい いいえ

もし、『はい』なら以下の質問にもお答えください

体重減少量：

- 元の体重の 10%以下
- 平均して元の体重の 10%程度
- 元の体重の 10%以上

程度：

- 軽度：体重減少はあるが、不快感や苦痛はほとんどない。
- 中等度：体重減少について、不快感がある、あるいは問題になることがある。
- 重度：体重減少は強い不快感・苦痛を伴い、深刻な問題を生じている。

(例えば、体重減少を止めるために栄養補助食品や食欲増進薬を摂取する必要があったり、
体重減少のため虚弱になったりする)

9. 最近 6 か月間で、飲み込みにくさを自覚したり、飲み込んだ後に飲み物や食べ物がのどに詰まったり、胃に到達するのに時間がかかると感じたことがありますか？

はい いいえ

もし、『はい』なら以下の質問にもお答えください

頻度：

- ときどき：週 1 回未満。
- しばしば：平均して週に 1 回程度。
- ひんぱんに：少なくとも週に 2 回以上。

程度：

- 軽度：飲み込みにくさはあるが、不快感や苦痛はほとんどない。
- 中等度：飲み込みにくさについて、不快感がある、あるいは問題になることがある。

(例えば、食べ物や錠剤を飲み込みやすいように小さく切ったりする)

- 重度：飲み込みにくさは強い不快感・苦痛を伴い、深刻な問題を生じている。

特定の食品を食べないようにしている、または過去 1 か月の間に窒息したことがある。

全ての質問に回答したかを確認してください

GIDS-PD | 日本語版パーキンソン病のための胃腸管機能障害スケール

10. 最近6か月間で、唾液が多いと感じたことがありますか？

はい いいえ

もし、『はい』なら以下の質問にもお答えください

頻度：

- ときどき：週1回未満。
- しばしば：平均して週に1回程度。
- ひんぱんに：少なくとも週に2回以上。

程度：

- 軽度：唾液は多いが、不快感や苦痛はほとんどない。
 - 中等度：唾液の多さについて、不快感がある、あるいは問題になることがある。
(例えば、よだれが垂れる)
 - 重度：唾液の多さは強い不快感・苦痛を伴い、深刻な問題を生じている。
(例えば、唾液を減らす薬を使う必要がある、唾液をぬぐい続けなければならない、
または唾液の多さのために恥ずかしい思いをする)
-

11. 最近6か月間に胸やけはありましたか？

はい いいえ

もし、『はい』なら以下の質問にもお答えください

頻度：

- ときどき：週1回未満。
- しばしば：平均して週に1回程度。
- ひんぱんに：少なくとも週に2回以上。

程度：

- 軽度：胸やけはあるが、不快感や苦痛はほとんどない。
- 中等度：胸やけについて、不快感がある、あるいは問題になることがある。
(例えば、胸やけのために薬を使わないといけない)
- 重度：胸やけは強い不快感・苦痛を伴い、深刻な問題を生じている。
(例えば、胸やけのために何かをするのに妨げになる、あるいは眠りににつけない)

全ての質問に回答したかを確認してください

GIDS-PD | 日本語版パーキンソン病のための胃腸管機能障害スケール

12. 最近 6 か月間に吐き気はありましたか？

- はい いいえ

もし、『はい』なら以下の質問にもお答えください

頻度：

- ときどき：週 1 回未満。
 しばしば：平均して週に 1 回程度。
 ひんぱんに：少なくとも週に 2 回以上。

程度：

- 軽度：吐き気はあるが、不快感や苦痛はほとんどない。
 中等度：吐き気について、不快感がある、あるいは問題になることがある。
(例えば、吐き気止めの薬を使わないといけない、あるいは吐き気のせいで食欲が減る)
 重度：吐き気は強い不快感・苦痛を伴い、深刻な問題を生じている。
(例えば、吐き気のために何かから足が遠のく、あるいは嘔吐する)

全ての質問に回答したかを確認してください

GIDS-PD | 日本語版パーキンソン病のための胃腸管機能障害スケール

あなたの胃腸の健康状態に関係すると思われる、生活習慣に関するいくつかの質問をします。

それぞれの質問について、**あなたの生活習慣を最も良く表す項目にチェックを入れてください。**

それぞれの質問の項目に、必ず全て目を通し、**一つだけ答えを選んでください。**

過去1か月間において

- A. あなたの普段の食事の内容に最も近いものはどれですか？
- 西洋型食生活（肉とローストした芋類/野菜が中心）
 - 地中海型食生活（肉、魚、生野菜と果物が中心）
 - アジア型食生活（麺、ごはん、火の通った野菜や肉や魚が中心）
 - インド型食生活（カレー、穀物、レンズ豆が中心）
 - ベジタリアン/ビーガン（肉または動物由来の製品を除いた食事）
 - 混合食（特定の食事パターンに従わない、または上記のいくつかを組み合わせた食事）
- B. 平均して一日に何杯の水やお茶（麦茶などカフェインのないもの）、無炭酸のジュースを飲みますか？
- 1日に1杯未満（週に数杯）
 - 1日1~3杯
 - 1日4杯以上
- C. カフェイン入りの飲み物（コーヒー、緑茶や紅茶、栄養ドリンクなど）を一日に何杯飲みますか？
- 1日に1杯未満（週に数杯）
 - 1日1~3杯
 - 1日4杯以上
- D. 30分以上の運動（運動教室、ウォーキングまたは自転車こぎ）は週に何回しますか？
- 週に1回未満
 - 週に1~3回
 - 週に4回以上

全ての質問に回答したかを確認してください

GIDS-PD | 日本語版パーキンソン病のための胃腸管機能障害スケール

E. タバコを吸いますか？

- 吸ったことがない
- 以前吸っていたがやめた
- 現在も喫煙している（毎日または時々吸う）

F. 今までに以下の胃腸疾患の診断を医師から聞かされたことがありますか？

疾患名	診断されたことがある	診断されたことはない	「ある」場合 診断された年	現在、その疾患に対して薬を使用していますか？	
便秘	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
過敏性腸症候群	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
クローン病	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
胃食道逆流 (別名：胸やけ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
潰瘍性大腸炎	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
憩室症	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
大腸がん	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
その他：_____	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ

ご協力ありがとうございました

GIDS-PD | 日本語版パーキンソン病のための胃腸管機能障害スケール

得点の付け方

項目 1 から 12 までは以下のように得点が付けられます (ただし項目 1 の「頻度」は配点が逆)

GIDS-PD は、以下の項目のセットからなる 3 つのサブスコアに分けることができます

頻度	程度	サブスコア	項目
ときどき : 1	軽度 : 1	便秘	1, 2, 3, 4
しばしば : 2	中等度 : 2	腸管過敏性	5, 6, 7, 8
ひんぱんに : 3	重度 : 3	上部消化管	9, 10, 11, 12

項目 1a, 1b, A, B, C, D, E, F からは追加の情報を得られますが、得点には使用されません。各項目の合計得点は「頻度」と「程度」の得点を掛け算することで計算されます。

GIDS-PD の合計得点は、項目 1 から 12 までの各得点を足して計算されます。
最小得点は 1、最大得点は 108 になります。

項目	「頻度」の得点			「程度」の得点			項目の合計得点 (頻度 × 程度)	
1	3	2	1	1	2	3		便秘 サブスコア
2	1	2	3	1	2	3	+	
3	1	2	3	1	2	3	+	
4	1	2	3	1	2	3	+	
5	1	2	3	1	2	3	+	腸管過敏性 サブスコア
6	1	2	3	1	2	3	+	
7	1	2	3	1	2	3	+	
8	1	2	3	1	2	3	+	
9	1	2	3	1	2	3	+	上部消化管 サブスコア
10	1	2	3	1	2	3	+	
11	1	2	3	1	2	3	+	
12	1	2	3	1	2	3	+	
合計 GIDS-PD 得点							=	